

早川堯夫：“バイオロジクスの将来展望と課題，バイオロジクス：生体由来物質を用いた製品開発”，(社)高分子学会編，株式会社エヌ・ティー・エス，東京（2004），pp.5・42

早川堯夫，永田龍二：“新しい遺伝子組換え体（GMO）の安全性評価システムガイドブック - 食品・医薬品・微生物・動植物 - ”，株式会社エヌ・ティー・エス，東京（2005），pp.309・330

檜山行雄，橋本諒人\*：“日本PDA製薬学会技術教育委員会報告書「PATと新しい品質保証の流れ」”，檜山行雄，橋本諒人\*，日本PDA製薬学会，東京（2005），pp.1・177

早川堯夫，石井明子：“スタンダード薬学シリーズ 第8巻 医薬品の開発と生産”，第13章 組換え医薬品，日本薬学会編，東京化学同人，東京（2005），pp.98・103

合田幸広：“健康・栄養食品アドバイザースタッフ・テキストブック（第3版）”，(独)国立健康・栄養研究所監修，山田和彦・松村康弘編著，第一出版，東京（2005.3），pp.112・117

合田幸広：“食薬区分と脱法ドラッグ，漢方薬・生薬薬剤師講座テキストI（第2版）”，(財)日本薬剤師研修センター編，(財)日本薬剤師研修センター，東京（2005.3），pp.114・128

合田幸広，穠山 浩，渡邊敬浩：“食品衛生検査指針（理化学編）”，厚生労働省監修，社団法人日本食品衛生協会，東京（2005.3），pp.278・363

合田幸広：“食品衛生検査指針（理化学編）”，厚生労働省監修，社団法人日本食品衛生協会，東京（2005.3），pp.547・549，pp.616・621

川原信夫：“麻薬植物，漢方薬・生薬薬剤師講座テキスト（第2版）”，(財)日本薬剤師研修センター編，(財)日本薬剤師研修センター，東京（2005.3），pp.98・105

洪正熙，蔡奎漢：“最新 일본약무 행정 규정집（最新日本薬務行政規定集）”，Dailypharm, Seoul（2004）

中岡竜介：“遺伝子医学別冊 生物医学研究・先進医療のための最先端テクノロジー「ドラッグデリバリーシステム，DDSの新たな展開」”，田畑泰彦編，株式会社メディカルドゥ，大阪（2003），pp.92・97

新谷英晴：“医療用品の滅菌方法，滅菌バリデーションならびに滅菌保証，日本薬局方収載試験法設定と現場での適用”，技術情報協会，東京（2004），pp.167・244

新谷英晴：“滅菌工程の保証，生物工学ハンドブック”，土戸哲明等（編），コロナ社，東京（2005），pp.261・266

米谷民雄：“家庭医学大全科”，高久史磨，猿田亨男，北村惣一郎，福井次矢総合監修，法研，東京（2004），pp.2797・2799

米谷民雄：“健康・栄養食品アドバイザースタッフ・テキストブック（第3版）”，食品添加物，(独)国立健康・栄養研究所監修，山田和彦・松村康弘編著，第一出版，東京（2005），pp.259・268

米谷民雄：“食品衛生検査指針 理化学編”，厚生労働省監修，日本食品衛生協会，東京（2005），pp.366，pp.367・395，pp.410・448

米谷民雄：“衛生試験法・注解2005”，日本薬学会編，金原出版，東京（2005），pp.543・544，pp.577・579

根本 了：“食品衛生検査指針 理化学編 2005”，厚生労働省監修，(社)日本食品衛生協会，東京（2005），pp.649・657

堤 智昭他：“食品衛生検査指針 理化学編 2005”，厚生労働省監修，(社)日本食品衛生協会，東京（2005），pp.502・547

穠山 浩，吉岡靖雄，松田りえ子，米谷民雄：“最新医学別冊・新しい診断と治療のABC26”，食物アレルギー，食物アレルギー，最新医学社，東京（2004），pp.45・56

穠山 浩：“抗アレルギー食品開発ハンドブック”，アレルギー誘発物質（食品），小川正・篠原和毅・新本洋士編，サイエンスフォーラム，東京（2005.5），pp.19・28

穠山 浩：“食品衛生検査指針 理化学編 2005”，厚生労働省監修，(社)日本食品衛生協会，東京（2005），pp.240・276，pp.549・564，pp.576・585

松田りえ子：“食品衛生検査指針・理化学編”，厚生労働省監修，日本食品衛生協会，東京（2005），pp.6・14

棚元憲一：“食品衛生検査指針 微生物編”，厚生労働省監修，(社)日本食品衛生協会，東京（2004），pp.104・115

河村葉子：“衛生試験法・注解2005”，日本薬学会編，金原出版，東京（2005），pp.587・591，pp.608・611，pp.652・653

河村葉子：“食品衛生検査指針 理化学編2005”，厚生労働省監修，(社)日本食品衛生協会，東京（2005），pp.820・856，pp.917・920，pp.940・945，pp.947・956，pp.996・1001

山本茂貴：“食品のリスクアナリシス”，山本茂貴・山崎省二 共編 オーム社，東京（2004），pp.1・14，pp.135・

146

Nakajima, M., Tabata, S., Akiyama, H., Itoh, Y., Tanaka, T., Sunagawa, H., Tyonan, T., Yoshizawa, T. and Kumagai, S.: "New Horizon of Mycotoxicology for Assuring Food Safety (Proceedings of ISMYCO Kagawa '03)", ed., Yoshizawa, T., BIKOHSHA, Takamatsu (2004), pp.199-208

五十君静信: "共通感染症ハンドブック", 日本獣医師会, 東京(2004), pp.224-225

五十君静信: "最新版 家庭医学大全科", 法研, 東京(2004)

五十君静信: "新しい遺伝子組換え体(GMO)の安全性評価システムガイドブック 食品・医薬品・微生物・動植物", エヌ・ティー・エス, 東京(2005), pp.119-134, pp.274-280

五十君静信: "プロバイオティクスとバイオジェニクス ~科学的根拠と今後の開発展望~, エヌ・ティー・エス, 東京(2005), pp.335-342

春日文子: "食品のリスクアナリシス", 山本茂貴・山崎省二 共編 オーム社, 東京(2004), pp.7-37

山本茂貴, 春日文子: "獣疫医学", 獣疫学会編 近代出版, 東京(2005), pp.133-147

高鳥浩介: "食品衛生検査指針 微生物編", 厚生労働省監修, (社)日本食品衛生協会, 東京(2004), pp.382-386, pp.406-411

Kosuke TAKATORI: "New Horizon of Mycotoxicology for Assuring Food Safety", Contamination of staple cereals with deoxynivalenol and nivalenol in Japan, ed., Takumi Yoshizawa, Japanese Association of Mycotoxicology, Tokyo (2004) pp.83-88

高鳥浩介: "獣医公衆衛生学 第3版", .ズーノーシス(人獣共通感染症)5. 真菌性ズーノーシス, 高鳥郁夫・熊谷進編, 文永堂出版, 東京(2004), pp.133-134

高鳥浩介: "獣疫医学 - 基礎から応用まで", 22章 疫学の歴史とエピソード アフラトキシンの発見, 獣疫学会編, 近代出版, 東京(2004), pp.210-211

工藤由起子: "ネオエスカ感染症・アレルギーと生体防御", 第4章細菌感染症 1. 食中毒とは, 倉田毅編著, 同文書院, 東京(2005), pp.89-91

小西良子: "食品衛生検査指針 理化学編", 厚生労働省監修, (社)日本食品衛生協会, 東京(2005), pp.585-590, pp.601-612

小西良子: "ネオエスカ感染症・アレルギーと生体防御", 倉田毅編著, 同文書院(2005), pp.146-150

奥田晴宏: "CTD申請~各分野における留意点と申請時の必需事項~", 情報機構, 東京(2005), pp.149-160

手島玲子: "IgEの検出法", 先端の分析法, 梅澤喜夫, 澤田嗣郎, 寺部茂編, NTS, 東京(2004), pp.214-216

手島玲子: "食品のアレルゲン性評価と予測法: 第一節, モデルシステムによる評価", 抗アレルギー食品開発ハンドブック, 小川正, 篠原和毅, 新本洋士編, Science Forum, 東京(2005), pp.221-227

Inoue, K., Tsuda, M. and Koizumi, S.: "Chronic pain and microglia: the role of ATP. Pathological Pain: From Molecular To Clinical Aspects", ed., Chadwick, C.J. and Goode, J., Novartis Foundation Symposium 261, John Wiley & Sons, Ltd, Chichester, UK (2004), pp.55-64

辻澄子他: "環境・健康科学辞典", 日本薬学会編, 丸善, 東京(2005)

中野達也, 谷森奏一郎, 加藤昭史, 小池上繁, 雨宮克樹, 福澤薫: "フラグメント分子軌道法入門 - ABINIT-MPによるタンパク質の非経験的量子化学計算 -", アドバンスソフト, 東京(2004)

井上達, 井口泰泉編: "生体統御システムと内分泌攪乱", シュプリング・フェアラーク東京, 東京(2005), pp.321

井上達: "生体統御システムと内分泌攪乱", はじめに - 発刊にあたって -, 井上達, 井口泰泉編, シュプリング・フェアラーク東京, 東京(2005), pp.iii-iv

菅野純, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 小野敦, 中津則之: "トキシコゲノミクス", ゲノム研究実験ハンドブック, 実験医学別冊, 羊土社, 東京(2004), pp.329-337

五十嵐勝秀, 菅野純: "生体統御システムと内分泌攪乱", 内分泌攪乱化学物質の神経幹細胞分化に及ぼす影響, 井上達, 井口泰泉編, シュプリング・フェアラーク東京, 東京(2005), pp.79-88

Sylvia C. Hewitt, John F. Couse, Kenneth S. Korach (五十嵐勝秀訳): "生体統御システムと内分泌攪乱", エストロゲン受容体ノックアウトマウスを用いて明らかになったエストロゲン作用メカニズム, 井上達, 井口泰泉編, シュプリング・フェアラーク東京, 東京(2005), pp.35-45

Audrey M. Cummings, Robert J. Kavlock (高木篤也訳): "生体防御システムと内分泌かく乱", 生殖腺の機能と性分化の機序, 井上達, 井口泰泉編, シュプリング

ー・フェアラーク東京, 東京 (2005), pp.133・146

Urushidani, T., Nagao T. :“ **Toxicogenomics** ”, The Japanese Initiative, J. Borlak Eds, Handbook of Toxicogenomics · Strategies and Applications. Wiley-VCH, Weinheim (2005), pp.623・631

Hirabayashi, Y. and Inoue, T. :“ **Chapter 24. Toxicogenomics Applied to Hematotoxicology.** ”, In Handbook of Toxicogenomics. (Borlak J, ed), Wiley · VCH, Verlag GmbH, Weinheim (2005), pp.583・608

Ohno Y. :“ **The Validation and regulatory Acceptance of Alternative Methods in Japan** ”, Proceedings of Fourth World Congress on Alternatives to Animal Experiments and Animal Use (2004), pp.643・655

Nishikawa, A. :“ **Inhibition of carcinogenesis in experimental animals: cruciferous vegetables** ”, In Handbooks of Cancer Prevention, Vol. 9: Cruciferous Vegetables, Isothiocyanates and Indoles, IARC Press, Lyon (2004), pp.99・109

Nishikawa, A. :“ **Carcinogenicity. Experimental studies: cruciferous vegetables** ”, Handbooks of Cancer Prevention, Vol. 9: Cruciferous Vegetables, Isothiocyanates and Indoles, IARC Press, Lyon (2004), pp.181・183

Hirose, M., Imai, T., Mitsumori, K. :“ **Carcinogenicity of kojic acid in rodents** ”, In: New Horizon of Micotoxicology for Assuring Food Safety. Proceedings of the International Symposium of Micotoxicology in Kagawa (T. Yoshizawa, ed.) (2004), pp.59・67

Nohmi, T. and Masumura, K. :“ **Novel Developments on Genetic Recombination; DNA Double-Strand Break and DNA End-Joining** ”, in Advances in Biophysics vol.38, ed. Ebashi, S., Japan Scientific Societies Press, Elsevier (2004), pp.97・121

増井徹 :“ 『人の法と医の倫理』 唄孝一先生賀寿論文集 ”, 医療と医学・生物学研究における one of them , 東京 (2004), pp.651・681